

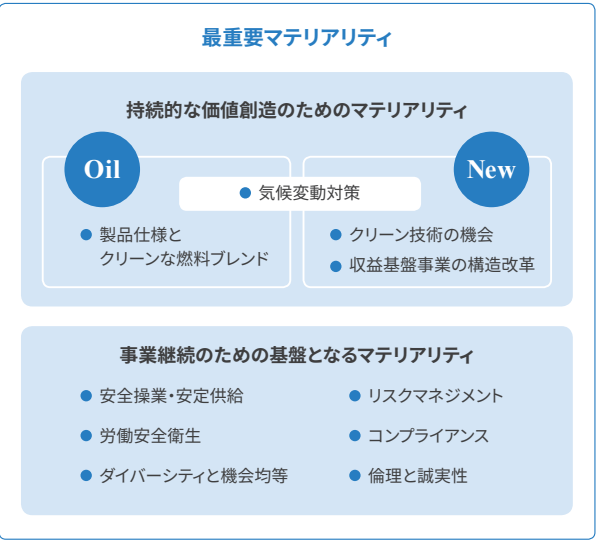
コスモエネルギーグループのマテリアリティ

マテリアリティの刷新

2021年3月に当社グループは、めざすべき2050年の社会の実現に向け、社会と当社グループの持続的な発展と中長期的な企業価値に影響を与える重要なESG課題(マテリアリティ)を、新たに特定しました。

持続的な価値創造のためのマテリアリティは、第6次連結中期経営計画のスローガン『Oil & New』を社会課題の観点からも推進し、それらを事業継続のための基盤となるマテリアリティが支えます。

今年度の取り組みとして、マテリアリティが貢献するSDGsターゲットの整理と次期中計におけるKPIの策定を実施中です。

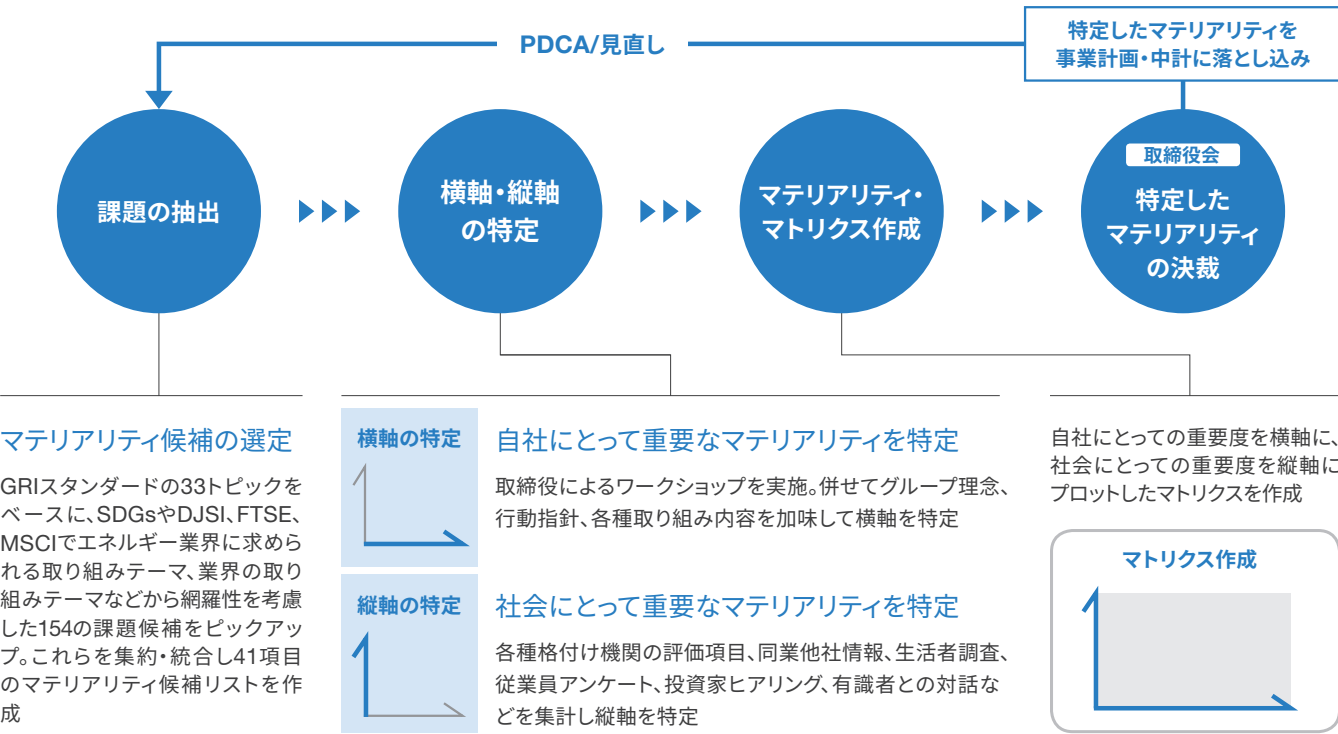


マテリアリティ	めざす姿
持続的な価値創造のためのマテリアリティ	気候変動対策 - 気候変動によるリスク・機会を特定し、その対策が検討・実施できている状態 - カーボンネットゼロに向けて、GHG削減施策を実施し削減目標を達成している状態
	クリーン技術の機会 顧客のニーズに合致したクリーンな燃料(e-fuel、水素、アンモニア等)を提供・販売できている状態
	製品仕様とクリーンな燃料ブレンド - 風力事業を核とした国内再エネ発電のリーディングカンパニーとなっている状態 - R&Dの注力テーマがより新しい低炭素技術にシフトし、当該技術において企業競争力を有している状態 - バリューチェーン全体で取り組む事業モデルを展開し、燃料以外のクリーンな製品の提供により十分な収益を得られている状態
	収益基盤事業の構造改革 - 財務基盤が安定した状態 - 既存事業で収益をあげ、その収益で株主還元と新たな事業への投資を実現している状態
事業継続のための基盤となるマテリアリティ	労働安全衛生 - 事故による従業員の傷害が防止できている状態 - 過重労働やハラスメントによる労働災害が防止できている状態 - 従業員が安心して健康に働ける状態
	ダイバーシティと機会均等 - 年齢、性別、職種、所属、職歴にかかわらずあらゆる社員が能力を最大限に発揮できる状態 - 意思決定において活発な議論がなされ、多様な意見が反映されている状態
	倫理と誠実性 行動指針が浸透していて、個々が適切に判断できる状態
	コンプライアンス - 法令・社会規範が遵守できている状態 - コンプライアンス違反がないよう社内規定が定められており、社員が認識・遵守できている状態
	リスクマネジメント - オペレーショナルリスクに加え、自社にとっての戦略リスク(機会も含む)が識別できており、適切なリスクヘッジ、テイクができている状態 - ERM®が整備され、グループ全体での重大リスクが把握・管理できている状態
	安全操業・安定供給 - 重大製品事故が防止できており、事故による従業員の傷害が防止できている状態 - 操業地域や周辺住民の安全を脅かさない操業ができている状態 - 災害時や非常時なども含めて、エネルギーが安定的に供給できている状態

※ 全社的リスクマネジメント

マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティの特定は、グループ内だけでなくステークホルダーの声にも耳を傾け、以下のプロセスで実施しました。



マテリアリティ候補の選定

GRIスタンダードの33トピックをベースに、SDGsやDJSI、FTSE、MSCIでエネルギー業界に求められる取り組みテーマ、業界の取り組みテーマなどから網羅性を考慮した154の課題候補をピックアップ。これらを集約・統合し41項目のマテリアリティ候補リストを作成

横軸の特定

自社にとって重要なマテリアリティを特定

取締役によるワークショップを実施。併せてグループ理念、行動指針、各種取り組み内容を加味して横軸を特定

縦軸の特定

社会にとって重要なマテリアリティを特定

各種格付け機関の評価項目、同業他社情報、生活者調査、従業員アンケート、投資家ヒアリング、有識者との対話などを集計し縦軸を特定

マトリクス作成

